

令和 7 年 度
学校法人戸早学園 財務諸表等

- ・ 貸 借 対 照 表
- ・ 事業活動収支計算書
- ・ 資金収支計算書
- ・ 財 産 目 録

- ・ 事 業 報 告 書
(監査報告書)

令和7年度 貸借対照表

千円

資産の部	
科目名	決算額
固定資産	1,162,024
流動資産	409,831
資産の部 合計	1,571,855
負債の部	
科目名	決算額
固定負債	297,230
流動負債	328,075
負債の部 合計	625,305
純資産の部	
科目名	決算額
基本金	2,986,614
第1号基本金	2,986,614
繰越収支差額	△ 2,040,064
翌年度繰越収支差額	△ 2,040,064
純資産の部 合計	946,550
負債及び純資産の部 合計	1,571,855

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和7年度 事業活動収支計算書

千円

科目名		決算額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金収入	376,335
		寄付金補助金収入	277,065
		その他の収入	68,159
		教育活動収入 計	721,559
	事業活動支出の部	人件費経費支出	796,276
		その他の支出	26
		教育活動支出 計	796,302
教育活動収支差額		△ 74,743	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	614
		その他の教育活動外収入	2,000
		教育活動外収入 計	2,614
	事業活動支出の部	借入金等利息	2,352
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出 計	2,352
教育活動外収支差額		262	
経常収支差額		△ 74,481	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	548
		特別収入 計	548
	事業活動支出の部	資産処分差額	1,221
		その他の特別支出	0
		特別支出 計	1,221
特別収支差額		△ 673	
〔 予備費 〕			
基本金組入前当年度収支差額		△ 75,154	
基本金組入額合計		△ 13,410	
当年度収支差額		△ 88,564	
前年度繰越収支差額		△ 1,974,895	
基本金取崩額		23,395	
翌年度繰越収支差額		△ 2,040,064	
(参考)			
事業活動収入 計		724,721	
事業活動支出 計		799,875	

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和7年度 資金収支計算書

千円

科目名	決算額
学生生徒等納付金収入	376,335
寄付金補助金収入	277,551
その他の収入	1,325,103
資金収入調整勘定	△ 165,820
前年度繰越支払資金	352,475
資金収入の部 計	2,165,644
人件費経費支出	730,576
その他の支出	1,095,197
資金支出調整勘定	△ 23,959
翌年度繰越支払資金	363,830
資金支出の部 計	2,165,644

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和7年度 財産目録

千円

科目名	決算額
資産額	
基本財産	1,103,379
運用財産	442,033
収益事業会計資産	958,646
資産額 合計	2,504,058
科目名	決算額
負債額	
固定負債	297,230
流動負債	236,765
収益事業会計負債	1,252,579
負債額 合計	1,786,574
正味財産	717,484

令和7年度 事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

学校法人戸早学園

監査報告書

令和 8 年 5 月 30 日

学校法人戸早学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 戸早学園

監事 木村 義孝

監事 藤田 信治

私たち監事は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの令和 7 年度の学校法人戸早学園の業務および財産の状況ならびに理事の職務の執行について監査を行いました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法およびその内容

各監事は、理事および職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会および評議員会その他重要な会議に出席し、理事および職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本法人の業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告およびその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類およびその附属明細書）ならびに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告およびその附属明細書は、法令および寄附行為に従い、本法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の業務執行の遂行に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類および財産目録の監査結果

計算関係書類および財産目録については、本法人の財産および収支の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

目 次

1	法人の概要	1
	Ⅰ 法人設立理念	
	Ⅱ 学校法人の沿革	
	Ⅲ 組織・付属機関等の組織図	
	Ⅳ 所在地	
	Ⅴ 役員・教職員の概要	
	Ⅵ 設置する学校・学科等の入学定員・学生数の状況等 労務構成表	
2	事業の概要	7
	Ⅰ 令和7年度の主な事業活動（総括および年間行事）	
	Ⅱ 就職状況	
3	財務の概要	16
	Ⅰ 貸借対照表	
	Ⅱ 資金収支総括表（予算比）・資金収支総括表（前年比）	
	Ⅲ 事業活動収支計算書・事業活動収支内訳表	
	Ⅳ 基本金明細表	
	Ⅴ はーとプラザとはや 令和8年度予算書（R7実績予算対比表）	

1 法人の概要

I 法人設立理念

本学園は教育を通じ、人格の陶冶、正しい使命感の体得、教育的愛情を培い、真に有能な人材の育成を行うことを目的とする。

1. 教育理念（全学共通）

- (1) 人類普遍の真理を探求する姿勢の確立
- (2) 個の尊厳、基本的人権擁護の理解と心豊かな人間性の涵養
- (3) 専門的援助に必要な知識・技術の修得

2. モットー

「人が好き」 「人を支える心を学ぶ」

3. 教育方針

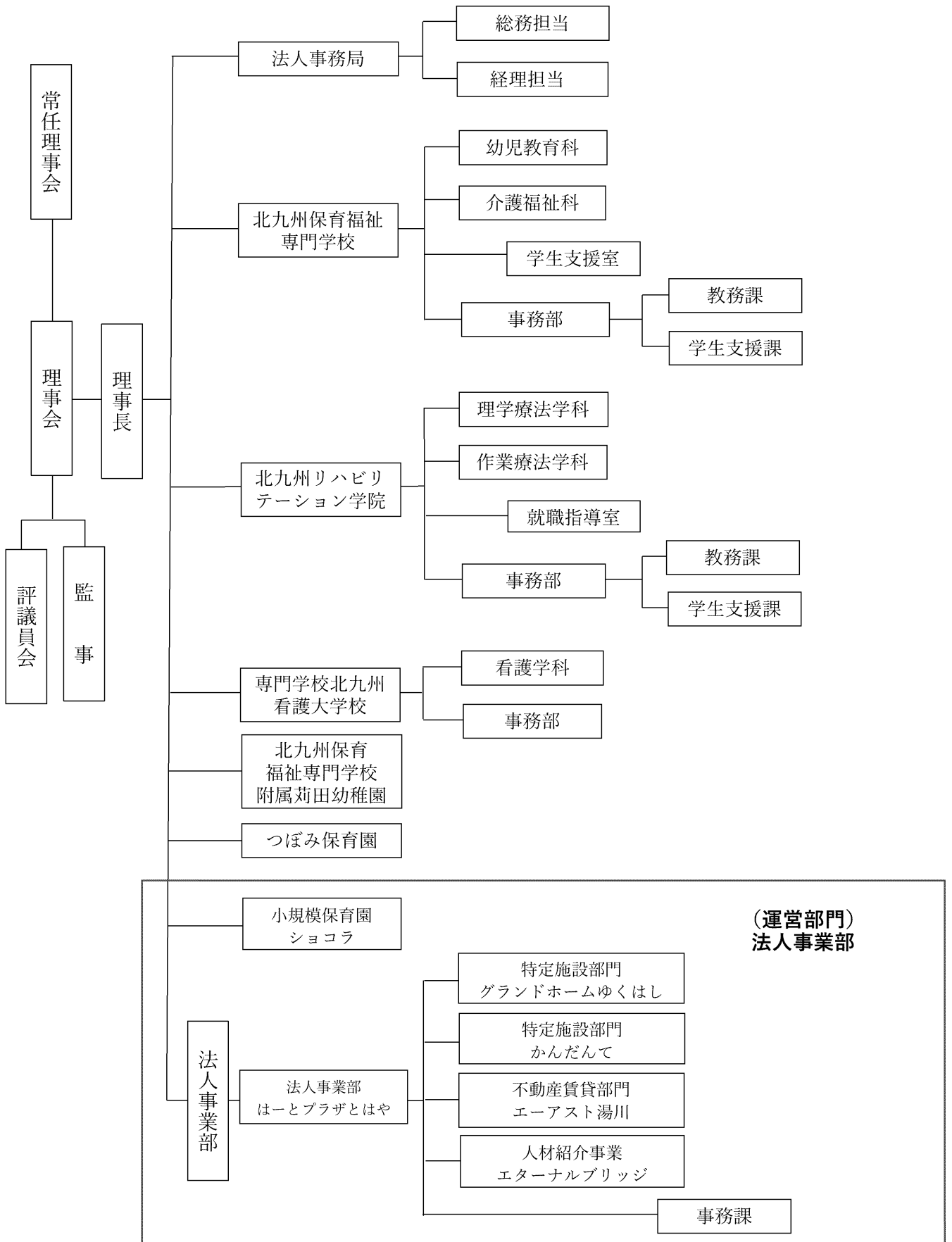
人を思いやる豊かな心を持った保育・福祉・医療のプロフェッショナルの育成

II 学校法人の沿革

昭和30年	4月	小倉市菜園場に私塾「小倉育英学館」を開設
昭和38年	4月	小倉育英学館を小倉区金田に移転
昭和39年		苅田町上片島に校地を取得
昭和40年	8月	学校法人戸早学園法人設立 初代理事長戸早孝太就任
昭和42年	4月	小倉南区湯川にいくえい幼稚園開園
昭和44年	4月	苅田町上片島に北九州幼児教員養成所開校 同附属苅田幼稚園開園
昭和45年	1月	厚生大臣より保母を養成する学校として指定
昭和51年	6月	専修学校（教育専門課程）の認可
昭和53年	12月	初代理事長戸早孝太逝去により二代理事長戸早康晴就任
昭和54年	4月	大分県中津市島田に中津育英学館開校 文部大臣より教員養成の無期限指定 第一若草寮竣工
	8月	校名を北九州保育専門学校に変更
昭和59年	3月	中津育英学館を譲渡
平成1年	3月	小倉育英学館廃止
平成2年	4月	介護福祉科（2年課程 1学年定員40名）設置
平成4年	4月	校名を北九州保育福祉専門学校に変更
平成9年	4月	介護福祉科40名定員を80名定員に変更 介護福祉専攻科（1年課程 定員40名）設置
平成11年	2月	二代理事長戸早康晴逝去により三代理事長戸早秀暢就任
平成11年	3月	附属苅田幼稚園新園舎落成 いくえい幼稚園閉園
平成15年	4月	苅田町上片島に北九州リハビリテーション学院（3年課程 理学療法学科・作業療法学科1学年定員40名）を開校
平成17年	7月	行橋市西宮市2丁目に総合福祉施設「はーとプラザとはや」開設
平成18年	6月	第二若草寮竣工
平成19年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科80名定員を40名定員に変更
平成20年	7月	小倉南区いくえい幼稚園跡地に賃貸アパート「エアースト湯川」オープン
平成23年	4月	小倉南区国立小倉医療センター敷地内に専門学校北九州看護大学校（3年課程 看護学科 1学年定員40名）開校
平成26年	3月	北九州保育福祉専門学校介護福祉専攻科廃止
平成27年	2月	北九州保育福祉専門学校 幼児教育科・介護福祉科及び北九州リハビリテー

		シヨン学院 理学療法学科・作業療法学科 文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成28年	2月	専門学校北九州看護大学校 看護学科文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成29年	4月	苜田町与原に苜田町公募の介護付有料老人ホーム「かんだんて」開設
平成30年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科の募集停止 内閣府による企業主導型保育事業申請
平成31年	4月	北九州保育福祉専門学校幼児教育科100名定員を50名定員に変更
令和1年	6月	苜田町与原に企業主導型保育事業「つぼみ保育園」開園
令和3年	3月	小規模保育園「ショコラ」許認可 北九州リハビリテーション学院作業療法学科1学年定員を30名に変更
令和3年	4月	小規模保育園「ショコラ」開園
令和4年	3月	法人事業部（かんだんて）において特定技能（介護）外国人労働者採用
令和4年	4月	附属苜田幼稚園 満3歳児保育および2歳児保育開始
令和4年	7月	「EternalBridge（エターナルブリッジ）」 有料職業紹介事業許認可
令和4年	8月	「EternalBridge（エターナルブリッジ）」 登録支援機関許認可
令和6年	3月	総合福祉施設「はーとプラザとはや」内 子育てサポートセンター「Chi's（チーズ）」閉所
令和6年	10月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科募集再開活動説明会を開催
令和8年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科再開（留学生7名を含む）

III 組織・付属機関等の組織図



IV 所在地

学校法人 戸早学園 〒800-0343 福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-24-6636 FAX 0930-24-8045

北九州保育福祉専門学校 〒800-0343 福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-23-3213 FAX 0930-24-8045

北九州リハビリテーション学院 〒800-0343 福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-23-3653 FAX 0930-23-3370

北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 〒800-0343 福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-23-3348 FAX 0930-23-3295

専門学校 北九州看護大学校 〒802-0803 福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 1 5 号
TEL 093-932-0123 FAX 093-932-3388

つぼみ保育園 〒800-0323 福岡県京都郡苅田町大字与原 1 1 5 6 番地
TEL 0930-24-0226 FAX 0930-24-0227

総合福祉施設 はーとプラザ・とはや 〒824-0031 福岡県行橋市西宮市 2 丁目 2 番 3 5 号
小規模保育園 ショコラ TEL 0930-26-2610 FAX 0930-26-2611

エーアスト湯川 〒800-0256 福岡県北九州市小倉南区湯川新町 4 丁目 7 番 1 号

介護付有料老人ホーム かんだんて 〒800-0323 福岡県京都郡苅田町大字与原 1 2 0 7 番地
人材紹介事業 エターナルブリッジ TEL 0930-24-1088 FAX 0930-24-1880

V 役員及び教職員の概要

(1) 役員（理事・監事）

区分	氏名	法人内の職務	職業又は公職
理 事 長	戸 早 秀 暢	法人事務局 事務局長	一般社団法人職業教育キャリア教育財団 監事
		専門学校北九州看護大学校 学校長	
		つぼみ保育園 園長	
		法人事業部 部長	
常 任 理 事	柴 田 康 弘	北九州保育専門学校 校長	
常 任 理 事	長谷川隆則	附属苅田幼稚園 園長	
理 事	福 田 玄 祥		弁護士 福田・金弘法律事務所
理 事	和 田 英 気		㈱ニシコン 取締役副社長
理 事	朔 晴 久		医師 小倉到津病院 理事長兼院長
監 事	森 田 義 孝		行橋商工会議所 専務理事
監 事	藤 田 信 治		元苅田幼稚園 園長（元常任理事）

(2) 評議員

区分	氏名	職務又は公職
法人職員	野 稻 吉 継	北九州保育福祉専門学校 事務長
法人職員	湊 村 明 彦	附属苅田幼稚園 副園長
卒 業 生	牧 野 洋	(有) ベスト保険 代表取締役
卒 業 生	久 篠 守 生	久篠司法書士事務所 所長
卒 業 生	長 城 晃 一	順天堂大学医学部 特任准教授
学識経験者	坂本東次郎	(有) 坂本不動産 代表取締役
学識経験者	稲 富 武 志	大原病院 副院長

VI 設置する学校・学科等の入学定員・学生数の状況等

学校法人戸早学園

[1. 北九州保育福祉専門学校]

	学 科 名	入学定員	総定員	
定員	幼 児 教 育 科	50名	100名	*令和8年度入学生から募集再開
	介 護 福 祉 科	40名	80名	
	合 計	90名	180名	

	学 科 名	1学年	2学年	合計
学生数	幼 児 教 育 科	40名 (34名)	32名 (37名)	72名 (71名)
	介 護 福 祉 科	0名 (11名)	0名 (0名)	0名 (11名)
	合 計	40名 (45名)	32名 (37名)	72名 (82名)

[2. 北九州リハビリテーション学院]

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	理 学 療 法 学 科	40名	120名
	作 業 療 法 学 科	30名	90名
	合 計	70名	210名

	学 科 名	1学年	2学年	3学年	合計
学生数	理 学 療 法 学 科	18名 (19名)	15名 (17名)	14名 (12名)	47名 (48名)
	作 業 療 法 学 科	4名 (12名)	13名 (4名)	19名 (13名)	36名 (29名)
	合 計	22名 (31名)	28名 (21名)	33名 (25名)	83名 (77名)

[3. 専門学校 北九州看護大学校]

	学 科 名	1学年	2学年	3学年	合計
定員 学生数	看護学科	40名	40名	40名	120名
		40名 (41名)	32名 (33名)	36名 (34名)	108名 (108名)

[4. 北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園]

		定員	園児数	差異
園児数	2 歳		16名 (12名)	△ 4名
	満 3 歳	20名	0名 (0名)	± 0名
	3 歳	90名	87名 (61名)	△ 26名
	4 歳	90名	81名 (85名)	+ 4名
	5 歳	90名	95名 (82名)	△ 13名
	合 計	290名	279名 (240名)	△ 39名

[5. つぼみ保育園]

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	6名 (6名)	± 0名
	1 歳	27名	23名 (23名)	± 0名
	2 歳	27名	21名 (21名)	± 0名
	合 計	60名	50名 (50名)	± 0名

[6. 小規模保育園 ショコラ]

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	4名	2名 (1名)	△ 1名
	1 歳	7名	10名 (8名)	△ 2名
	2 歳	8名	7名 (10名)	+ 3名
	合 計	19名	19名 (19名)	± 0名

- * 学校部門 [1~4] の学生数・園児数は学校基本調査(令和7年, 令和8年5月1日)より作成
- * つぼみ保育園 [5]、小規模保育園ショコラ [6] の園児数は令和7年, 令和8年5月1日の人数
- * 学生数・園児数のカッコ内は令和8年度の人数

労務構成表

		正規職員	嘱託職員	パート職員	非常勤講師	合 計
法人事務局	職 員	4	6	1	0	11
北九州保育福祉専門学校	教 員	6	5	0	26	37
	職 員	4	1	2	0	7
北九州リハビリテーション学院	教 員	12	1	0	26	39
	職 員	1	2	3	0	6
専門学校北九州看護大学校	教 員	8	2	2	64	76
	職 員	1	1	3	0	5
苧田幼稚園	教 員	15	1	19	0	35
	職 員	0	5	1	0	6
つぼみ保育園	職 員	13	0	13	0	26
法人事業部 (はーとプラザ・とはや)	職 員	33	1	5	0	39
法人事業部 (かんだんて/エターナル)	職 員	26	1	7	0	34
小規模保育園ショコラ	職 員	8	0	2	0	10
合 計	教 員	41	9	21	116	187
	職 員	90	17	37	0	144
	計	131	26	58	116	331

R8. 5. 1現在

I 令和7年度主な事業活動（総括および年間行事）

1. 北九州保育福祉専門学校

[総括]

学生の保育者としての資質能力の育成及び保育の実践力の養成に関しては、引き続き顕著な成果を上げていると総括できる。入学してきた学生を2年間という短期間において現場で通用する保育者に育てるため、本校の教員、事務職員は一丸となって全力で学生をサポートしており、一人ひとりの学生に対してきめ細かい指導を行っている。

学生の授業評価では、8割以上の学生が本校の授業を受けて良かったと「授業に関する学生アンケート」に答えている。また、就職率は令和7年度についても、100%を達成している。

引き続き学生募集が大きな課題ではあるが、幼児教育科1学年定員50名に対し、令和8年度の入学者数は33名、定員充足率は68%であり、コロナ禍明けのR5の定員充足率48%（24名）から比べると増加に転じている。コロナ禍数年間の志望者数は減少傾向にあったが、コロナ禍以降の保育現場での保育士や幼稚園教諭の不足、さらには近隣の短期大学の募集停止や入学定員の削減などの外部環境の変化もあり、本校の専門学校としての実践的な職業教育が徐々に注目されるようになっている。

令和7年度の取り組みとしては、年間15回のオープンキャンパスの実施の他、社会人対象に「学び直し」入学を促進するための説明会を年間5回実施し、自治体、ハローワークへのチラシ配付やポスター掲示等の広報を行った。

また近隣の高校生を対象に、保育の魅力伝える「保育体験」を12月に附属幼稚園の協力を得て実施した。「保育体験」は、20名の熱心な保育者志望の高校生の参加を得て、高校側にも好評であった。今後の募集に繋がることが期待される。

令和8年度についても、募集に繋がる様々な活動を精力的に取り組みながら、より多くの入学生の獲得に全力を挙げたい。

また今年度は、令和8年度からの介護福祉科の募集再開に向けての準備を進めた。昨年の9月と10月に本校で募集再開についての説明会を行い、56施設に及ぶ介護関連施設の参加者を得た。その中から、現在14施設が、外国人留学生の経費支弁を担う「協力施設」の登録を行っている。留学生については、ミャンマー、ヤンゴン市内の送り出し機関であるUVS他5校と契約し、令和8年度には、日本語能力試験N2を取得した7名の優秀なミャンマーからの留学生を受け入れることが決定している。また日本人学生も4名が入学し、介護福祉科の定員は1学年40名であるが、令和8年度の介護福祉科の再開については、学生11名で再スタートする。

[年間行事]

- 4月 2日 第57回入学式
- 4月 4日 1年生OR消費者教育
- 4月 5日 特別授業 熊丸みつ子先生
- 6月 3日 第1回教育課程編成委員会
- 7月 2日 職業実践演習（3日間）
- 7月19日 学校関係者評価委員会
- 9月26日 特別授業『劇団ののはなワークショップ』
- 10月15日 特別授業 納富俊郎先生
- 10月26日 学園祭
- 11月 4日 防災訓練
- 11月21日 学習発表会
- 12月 2日 第2回教育課程編成委員会
- 12月11日 北九州ゆめみらいワーク参加 ～12日
- 1月17日 第2回学校関係者評価委員会
- 2月 1日 戸早学園創立60周年式典
- 3月 3日 第56回卒業証書授与式

2. 北九州リハビリテーション学院

[総括]

令和7年度の最大の課題は、入学者の確保である。学生募集の取り組みとして、「北リハの特徴」のアピールを主にガイダンスや定期的な高校訪問を継続して教員でも実施した。また、新たな試みとして卒業生が所属する施設を中心に学院のパンフレットを設置、部活動の生徒を対象に故障の防止とパフォーマンスの向上に向けた出前講義を実施した。その効果もあり、入学生は、昨年度の21名から10名増加し31名（理学19名、作業12名）になった。OCについては昨年に引き続き小グループによる「FACE TO FACE」で密な学校説明を行った。OC参加者は52名であり、昨年より13名増加した。OCから受験への歩留まり率は59.6%（昨年53.8%）であり昨年より5.8%増加した。来校者を増加させることが重要である。

学生募集に関しては広報と密に連携を図り、部活動生への出前講義、職業教育を中心に出前講義の提案をもとに高校のニーズに応じる為の高校訪問を積極的に実施する。また全体委員会で作成したアクションプログラムで示すようにSNSの活用、地域・行政との連携を進めていく。

また、退学者の原因分析をしてみると学習意欲の低下によるものが大半であった。学習習慣の確立と基礎的知識の習得のために、1年生の段階で成績不振者を対象に学習支援プログラムを実施している。国家試験については、理学、作業（既卒生2名含む）両学科とも在籍者全員が合格した。

[年間行事]

- 4月 2日 第23回入学式
- 4月21日 救急救命講習会（1年生）
- 5月19日 抗体検査、人権セミナー（1年生）
- 5月26日 クラスマッチ
- 6月27日 安心安全教育（1年生）
- 7月12日 第1回教育課程編成委員会
- 7月19日 第1回学校関係者評価委員会
- 8月18日～20日 解剖学実習 九州歯科大学（2年生）
- 8月30日 行橋夏まつり こすもっぺ
- 9月19日 就職活動セミナー（3年生）
- 9月26日 年金講話・マナー講座（1年生）
- 9月29日 就職説明会（対面）
北九州看護大学校とのスポーツ交流会（1年生）
- 10月26日 就職説明会（リモート）
- 10月26日 青龍祭
- 11月 7日 防災（地震）訓練
- 11月29日 第2回教育課程編成委員会
- 12月 1日 第1回専門職連携教育（北九州看護大学校）（2年生）
- 12月 8日 第2回専門職連携教育（北九州看護大学校）（2年生）
- 12月11日 北九州ゆめみらいワーク参加 ～12日
- 12月15日 第3回専門職連携教育（北九州看護大学校）（2年生）
- 1月17日 第2回学校関係者評価委員会
- 1月31日 第1回入学前セミナー（新入学予定者）
- 2月 1日 戸早学園創立60周年式典
- 2月23日 第61回国家試験
- 3月 4日 第21回卒業証書授与式
- 3月 7日 第2回入学前セミナー（新入学予定者）
- 3月21日 臨床実習指導者会議

3. 専門学校 北九州看護大学校

[総括]

令和7年度は計画した教育活動が実践でき、臨地実習についても現場でより多くの指導を受けることができた。本校の強みである小倉医療センターとの連携においても、臨地実習だけでなく非常勤講師である医師・看護師からの受講ができたことや、昨年からは職業理解について卒業生や看護管理者、認定看護師からの体験や看護の魅力についての特別講演を年3回開催した事で、小倉医療センターの実習指導体制にも奏功しているようである。加えて、この特別講演を継続している事で小倉医療センターへの就職希望者増にも貢献しており、希望者12名全員が入職となった。

入学者については、入試区分を変更したことで、昨年度と異なる区分での新入生が入学予定となり、40名の定員を満たせなかったが、38名入学予定のうちの入試区分変更者が今後の専門学校北九州看護大学校の未来が吉と出るかという3年後を考えて、教育体制や時代の変化を捉えていかなければならない。依然注視しなければならないオープンキャンパス参加者減少と受験者数の伸び悩みは、令和8年度入学の新入生に対し、「どのようなことをオープンキャンパス等に期待しているか」という高校生のニーズや状況を把握する内容を早期に収集し、次年度のオープンキャンパス企画等に導入して参加者数がアップにつなげる。

教育面では、医療従事者育成としての感染防止策を継続することで、学生・教職員各自の意識づけは感染拡大や体調不良者を多く出さないという結果に繋がった。しかし中高生時期に予防策を重視しすぎるこれまでの傾向は、3年生の臨地実習を安易に欠席するという行動となり、補習実習日程が増加した。そのため教員も補習実習対応に追われ、低学年への関わり不足を心配する教員も多かった。近年、休退学者が増加していることに対して、気持ちの支援やチューター制で支援した結果、休退学はあったが、休学生については復学につなげることができた。復学はゴールではないので、全員が単位取得し卒業できるよう学生支援を引き続き行う。

最後に教育の集大成である看護師国家試験は1名不合格、96.9%の合格率で残念ながら100%達成は叶わなかった。国家試験担当教員の途中変更もあり、年間を通じた計画や個々の学生の成績状況に合わせた対応が遅れたことが原因と考えられるが、不合格となった学生に対しては、早期から学習支援を個別に対応していた学生で、低学年時から伸び悩み成績についてもっと介入が必要であったことが明確となった。就職に関しては、国立病院機構への就職希望者を含めほぼ全員が第一希望の就職先に入職できたことは、求人数の多さやこれまで難しいとされた施設の定年時期とも重なり、学生の自由な職場選択が象徴される結果であった。

[年間行事]

- 4月 3日 第14回入学式
- 5月 2日 新入生歓迎会、学友会総会
- 6月 2 3日 看護学校協議会交流競技大会
- 6月 4日 第1回教育課程編成委員会
- 7月 1 9日 第1回学校関係者評価委員会
- 9月 1 2日 2年生保護者会
- 9月 2 6日 防火・防災避難訓練（看護学科1，2年生）
- 9月 2 9日 北九州リハビリテーション学院合同スポーツ交流会（看護学科1年生）
- 10月 4日 講師会議
- 10月 2 4日 宣誓式
- 11月 1日 学校祭
- 11月 2 9日 卒業生懇談会
- 12月 1日 第1回専門職連携教育（北九州リハビリテーション学院）
- 12月 8日 第2回専門職連携教育（北九州リハビリテーション学院）
- 12月 1 0日 第2回教育課程編成委員会
- 12月 1 5日 第3回専門職連携教育（北九州リハビリテーション学院）
- 1月 1 7日 第2回学校関係者評価委員会
- 2月 1日 戸早学園創立60周年式典
- 2月 1 5日 第115回看護師国家試験
- 3月 6日 第13回卒業証書授与式

4. 苜田幼稚園

[総括]

令和7年度事業活動報告として、2歳児クラスは、24名定員を14名でスタートして最終的には21人となった。3歳到達以降無償化なので3歳になって入園する例が多くみられた。2歳児保育はほぼ全員が進級するため今後も力を入れていきたい。また令和6年度から始めた1歳児以下の教室「かんだのもり」は、10名定員が前期は即座に集まったが、後期は定員を埋めることができなかった。次年度は前期後期と分けずに1年間とし定員を埋められない場合は途中からの参加も可としたい。

令和7年度の入園児は卒園児より増加したが、令和8年度は大幅に入園児が減少する見込みである。行橋市や苜田町の3～5歳児の人口減少だけでなく、行橋市からの園児が大きく減っていることや行橋市の幼稚園が軒並み入園者を減らしていることを考えると、行橋市に多く開設されている認定こども園の存在が関係していることも考えられる。今後、近隣の状況を踏まえ、つばみ保育園やショコラとの連携を取っていきたい。

自然環境を生かした保育では、戸外での昼食実施や山への散策、自然物を使った製作、年長組の竹馬や鉄棒など本園の特性を生かした保育内容を取り入れることを意識している。集団での遊びの中でコミュニケーション能力を育成することを今後も継続していきたい。

また、このような取り組みをSNSで配信することで、本園の豊かな環境を生かした保育内容を、より保護者の方達に伝えるとともに、泥んこ遊びや竹馬大会はNHKのニュースにも取り上げられ多くの保護者や見学者からの声かけをもらったので、今後もマスコミへの告知を続けていきたい。

[年間行事]

- 4月12日 入園式
- 6月6日 避難訓練（火災・北九州保育福祉専門学校と合同）
- 6月14日 同窓会
- 7月7日 プール開き
- 7月8日 泥んこ遊び（年長組）
- 7月27日・28日 一泊キャンプ（年長組）
- 9月2日・7日 入園説明会
- 10月11日 大運動会
- 10月17日 避難訓練（火災：苜田町消防本部指導有）
- 10月21日 年長組遠足（平尾台・千仏鍾乳洞）
- 10月23日 年中組遠足（行橋総合公園）
- 10月26日 苜田っ子まつり（PTAバザー）
- 10月28日 年少組遠足（メタセの杜）
- 11月8日 2歳児クラス三園合同運動会ごっこ
- 12月6日・13日 お遊戯会
- 1月20日 お店屋さんごっこ
- 2月1日 戸早学園創立60周年式典
- 2月6日 避難訓練（地震・津波）
- 3月7日 竹馬大会
- 3月10日 避難訓練（不審者）
- 3月14日 2歳児クラス三園合同観劇会
- 3月19日 卒園式

5. つばみ保育園

[総括]

令和7年度事業活動報告として、「定員60名の安定的な確保」は、例年同様、2歳児クラスが定員に満たないことが影響しているため、20名を下回らないことを目標としてきたが、1名減という結果となった。2歳児クラスへの進級の際に、認可保育園や幼稚園（保育料の無償化）への転園が4～5名程度いる状況である。今後も引き続き、附属苜田幼稚園の保育環境や

預かり保育の充実等を伝え、継続して利用していただけるように努めていく。

「質の高い保育提供と保護者支援」は、園内研修、外部研修を通して、保育の質の向上に努めることにより、子ども一人ひとりの人権を尊重し、保護者理解（家庭環境）を深めている。その上で、職員間で情報を共有し、対応、支援に取り組み、協力体制を整えている。

「自治体・地域との連携強化」は、自治体との連携も継続的に良好であり、今後も関係構築に努めていく。有効な企業との契約ができており、安定的な入園希望者（企業枠）へとつながるものとなっている。

総合的に、日頃の保育活動を SNS で配信することや登園降園時の保護者対応等を通して、園児、保護者にとって安心な保育提供、保護者支援の構築ができています。運営面でも安定を見せており、評価に値すると考えています。一方で2歳児クラスの定員確保や監査対応など引き続き課題もあり、加えて施設設備更新の検討と対策も必要と考える。

[年間行事]

- 5月13日・14日 内科検診
 - 5月14日 届出保育施設等の立入調査（福岡県田川保健福祉事務所監査指導課）
 - 6月 1日 開園6周年
 - 7月16日 歯科検診
 - 7月25日 立入調査（児童育成協会）
 - 8月23日 夏祭り
 - 10月16日 防犯・不審者訓練（行橋警察署依頼）
 - 10月25日 親子ふれあい参観日
 - 11月 8日 2歳児クラス三園合同運動会ごっこ
 - 11月11日・12日 内科健診
 - 1月 4日 令和8年度入園申込受付開始
 - 2月 1日 戸早学園創立60周年式典
 - 2月14日 親子ふれあい参観日
 - 3月 5日 防犯・不審者訓練（園内職員のみ）
 - 3月31日 2歳児お別れ会
- ※毎月・健康診断 避難訓練 苅田幼稚園への園外保育（1歳児・2歳児・5月から実施）

6. 法人事業部

[総括]

令和7年度は特定施設部門において、「グランドホームゆくはし」は、前年度と比較し稼働率は上昇したが（年間平均稼働率90.5%→92.4%）、躯体の修繕費用などが重なり、赤字で期末を迎えることとなった。「かんだんて」は、前年度と比較して若干稼働率が上昇し（年間平均稼働率93.8%→94.3%）、僅かながら黒字で期末を迎えることができた。

人材確保においては、「グランドホームゆくはし」は、年間離職率13.3%（前年13.0%）と目標（10%以内）は達成できなかったが、介護施設の全国平均離職率と同等の数字に落ち着いた。「かんだんて」は、年間離職率13.9%（前年度3.0%）と前年度と比較して離職率が高くなったが、こちらも介護施設の全国平均離職率と同等の数字に落ち着いた。中間管理職や一般職員の育成取組みについては着実に進めているが、引き続き課題を残している。

令和6年度から新事業としてスタートした、有料職業紹介事業・登録支援事業「Eternal Bridge」に関しては、令和6年度に引き続き協定先であるカンボジアの日本語学校、ミャンマーの送出し機関（兼日本語学校兼スキルセンター）と連携して自法人への人材受入れのみでなく、他法人に対しても紹介することができた。ただし、収支としては、赤字計上の結果となった。

法人事業部全体の結果としては、退職金引当等の決算処理実施後はプラス収支が予測される。

7. 小規模保育園ショコラ

[総括]

令和7年度は、期首20名でスタートすることができた（定員19名、定員の116%：2

2名まで受入可能)。年間平均稼働率も109.8%（前年108.4%）の結果で、開設以来最高額の収入となり、予算通りの黒字を挙げることができた。職員の確保については1名の離職があったが、補充もでき安定した年度となった。

[年間行事]

- 4月 1日 令和7年度開園
- 4月24日 内科健診
- 6月26日 歯科検診
- 7月12日 親子ふれあい保育参観
- 7月18日 プール開き
- 9月26日 防犯・不審者訓練
- 10月 9日 内科健診
- 11月12日 どんぐり拾い（行橋総合公園）
- 11月 7日 七五三参り（正八幡宮）
- 11月 8日 運動会ごっこ
2歳児芋掘り（苺田幼稚園）
- 11月29日 保育参観・お遊戯会
お遊戯会練習見学（苺田幼稚園）
- 12月27日 お餅つき大会見学（グランドホームゆくはし）
- 1月 9日 初詣（正八幡宮）
- 2月 1日 戸早学園創立60周年式典
- 2月 3日 節分・おたふくくぐり（正八幡宮）
- 3月11日 2歳児お別れ遠足
- 3月14日 観劇会

※ 毎月・・・身体測定・避難訓練・誕生日会

※ 苺田幼稚園への園外保育（2歳児5月以降参加 但し、7・8月は熱中症予防のため中止）

8. 法人事務局

[総括]

令和7年度は、学園創立60年という節目の年で、全10部門の職員が一堂に会し祝賀行事を行う事ができ、記念すべき年であった。しかしながら、業績面では、昨年引き続き厳しい状況で、入学者数こそ前年実績を上回ったが、学納金収入は減少となり、幼稚園の園児募集もブレーキがかかり、収入は前年度より減少した。支出についても、物価高騰、人件費上昇、施設設備の改修などのコスト増で前年比増となる見通しである。令和8年度も状況が一変するような要素はなかなか見い出せないが、学園職員全員で、この厳しい局面を乗り越えようとする機運が高まってきているのを感じている。令和8年度からは、北九州保育福祉専門学校で、外国人留学生を初めて迎え入れた。専門学校・幼稚園ともに時代にあった新たな在り方に変化する起点となる年にしなければならない。法人事務局として、各部門の事業活動をバックアップしていく。

*令和7年度に実行した大型設備投資は以下の通り

北九州リハビリテーション学院空調設備工事 62,480,000円

介護福祉科再開に伴う改修工事 3,844,170円

(介護実習棟エアコン・介護実習室浴室タイル改修・介護棟玄関手摺補修・介護棟女子トイレ改修・介護実習棟ガス給湯修繕・介護棟25号教室プロジェクター等)

専門学校北九州看護大学校パソコン演習室パソコン入替 1,253,450円

北九州リハビリテーション学院パソコン教室パソコン入替 1,457,500円

※北九州保育福祉専門学校が使用

苺田幼稚園井水加圧ポンプ買替え 1,320,000円

9. 広報部門 ※専門学校3校

[総括]

オープンキャンパスの参加者数は、北九州保育福祉専門学校と北九州リハビリテーション学院が増加、専門学校北九州看護大学校は微減という結果であった。入学者数は、専門学校3校とも増加した。中でも、北九州保育福祉専門学校は介護福祉科が募集再開し、留学生7名を含め10名の新入学生を獲得することができた。北九州・京築・筑豊地区では、介護福祉士養成校が激減するなかでの募集再開とあって、各高等学校から再開を歓迎する声を多くいただいた。募集活動としては、学生との接点の機会を増やす為、従来のオープンキャンパスの形式にとらわれず、学校から外部に出向いていくオープンキャンパスや、SNS を活用した活動を行った。令和8年度は、各校が募集活動と入試制度の改革を行い、早期受験生や遠隔地受験生に対する特待生制度などが充実する。新制度のアピールと各校の強みを十分にPRできる様活動する。

10. 職業訓練委託事業による入学

福岡県立小倉高等技術専門校より職業訓練の委託を受け令和7年度入学生を受け入れた。

幼児教育科 5名

II 就職状況

卒業生の就職状況は好調を維持している。求人数、就職内定率は以下のとおりである。

	求人数	就職内定率
幼児教育科	3, 383件	100%
理学療法学科	2, 682件	100%
作業療法学科	2, 152件	100%
看護学科	6, 048件	100%